

第3次狭山市教育基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

整理番号	L-1
------	-----

基本目標 I 確かな学力と時代の変化に対応する力の育成

施策 1 確かな学力の育成

施策の成果目標

目標項目	実績値 (令和元年度)				令和4年度末数値 (小6及び中3)				目標値 (令和7年度)		
	科目	小学校		中学校		科目	小学校			中学校	
埼玉県学 力・学習状 況調査の 平均正答 率		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県		狭山市	埼玉県	狭山市	埼玉県	全科目で県 平均正答率 を上回る
	国語	55.5	56.9	58.4	58.7	国語	63.1	63.8	55.1	56.3	
	算数	66.1	66.6	—	—	算数	59.2	59.8	—	—	
	数学	—	—	59.6	59.3	数学	—	—	57.0	57.1	
英語	—	—	56.6	56.1	英語	—	—	52.8	55.9		

(令和4年度までの取り組み)

- ・ 県及び市教育委員会主催の各種研修への参加及び学校研究、学校指導訪問等によって、教員の授業力の向上を図った。
- ・ 学力向上に向けて、学力向上ストラテジープランを各学校において策定し、目標達成に向けてPDCAサイクルにより進行を管理した。
- ・ 学校指導訪問において、令和元年度に改訂した狭山市学力向上茶レンジ・プランに基づいた授業を指導することにより教師の授業力の向上を図る。

(目標値に対する達成状況)

- ・ 小中学校共に目標値よりやや低い水準にとどまった。

(今後の取り組み予定等)

- ・ 学校指導訪問において、狭山市学力向上茶レンジ・プランに基づいた授業を指導することを継続して取り組み、教師の授業力の向上を図る。(市の重点として、特に提言5と提言6について全小中学校が取り組む。)
- ・ 学力向上ストラテジープランに数値目標及び全国学調や県学調の自校の平均点等を掲載させ、定量的評価によるPDCAサイクルの管理に一層努める。
- ・ 全国及び県の学力調査問題及び結果を活用するとともに、指導力向上を図る研修会を実施し、各校での結果を指導に生かす取り組みを行う。
- ・ 令和元年度に開始した小学4年生を対象に実施する算数の学習支援事業を行い、家庭(学校外)における学習習慣を確立するとともに、基礎学力の定着・向上を図る。中学生には、さらに長期休業中に集中講義を行う。
- ・ 令和3年度より導入した1人1台端末を活用した学習について授業力向上研究委員会を中心に研究し、学校での活用を推進する。
- ・ 学力の伸びを大幅にUPさせた教員の指導技術を集め、全教職員に共有できるように図っていく。

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-2				
基本目標 I 確かな学力と時代の変化に対応する力の育成							
施策 1 確かな学力の育成							
施策の成果目標							
目標項目	実績値 (令和元年度)			令和4年度末数値		目標値 (令和7年度)	
		小学校	中学校		小学校		中学校
全国学力・学習状況調査において、学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合	狭山市	83.9	82.4	狭山市	86.3	85.4	県、全国 平均値を 上回る
	埼玉県	86.3	82.4	埼玉県	86.9	84.5	
	全国	85.8	81.9	全国	85.4	82.9	
(令和4年度までの取り組み)							
<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい人間関係を築く力を培うため、児童生徒のコミュニケーション能力の育成に取り組んだ。 ・いじめ防止のため、児童生徒の人権感覚を育成するとともに、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた組織的な取り組みを行った。 ・学校の教育活動全体を通して、児童生徒に他人を思いやる心、善悪を判断する力や公共心を培うための取り組みを実施した。 							
(目標値に対する達成状況)							
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校では、目標値より高い水準になっている。 							
(今後の取り組み予定等)							
<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の充実により教職員の指導力向上を図り、児童生徒が学習の成果を実感できる授業の実践を推進する。 ・「特別の教科道徳」及び特別活動における指導を通して、道徳性や社会性を養うと共に、集団の中で望ましい人間関係を築くことができる能力を育成する。 ・「学校生活充実支援委員会」を発足し、児童生徒が安心して生活できる環境や支援方法について研究を推進する。 ・Q Uテストや「人権感覚育成プログラム」を活用して、楽しい授業や学級づくりへとつながるよう、推進する。 							

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-3
基本目標 I 確かな学力と時代の変化に対応する力の育成			
施策 2 時代の変化に対応した教育の推進			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
CEFR（セファール）のA1相当レベル以上の英語力を持った生徒の割合	55.0%	53.8%	全国の目標値50.0%を上回る
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間学習塾と連携した中学生学習支援事業「さやまっ子・茶レンジスクール」の実施 ・英語検定料の公費負担（実用英語技能検定、中学3年生対象） ・民間企業と連携した「オンライン英語検定対策講義」を実施 <p>(目標値に対する達成状況) 令和元年度末に達成</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度までの取り組みに加え、令和4年度開始の民間企業と連携した「オンライン英語検定対策講義」を実施し、中学卒業時のレベルである実用英語検定3級取得生徒を増やしていく。 			

(所管課：教育センター)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

整理番号	L-4
------	-----

基本目標Ⅱ 豊かな心の育成と健康・体力の増進

施策1 豊かな心の育成

施策の成果目標

目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
------	----------------	----------	----------------

埼玉県学力・学習状況調査における 規律ある態度の定着度			全項目80%以上
--------------------------------	--	--	----------

(令和4年度までの取り組み)

- 児童生徒に基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせ、規範意識を大切にし、社会生活の中で規律を守って行動できる態度の育成を図った。

(目標値に対する達成状況)

- 各学年12項目、小4～中3までの合計72項目中、目標達成は55項目であり、達成率は76.3%である。あいさつについては、コロナ禍ということもあり、進んで行うことが難しい状況でもあった。

(今後の取り組み予定等)

- 「特別の教科道徳」の研究を継続する。
- 規範意識を向上するため、家庭や地域へ学校の道徳授業などの情報発信につとめ、家庭教育への普及を図る。
- あいさつについては、大きな声で元気よくというだけでなく、会釈やジェスチャーといった動作も身に付けられるようにしていく。

内容	項目		R4					
			小4	小5	小6	中1	中2	中3
○けじめのある生活ができる	1 時刻を守る	①登校時刻	埼玉県 89.1	91.9	93.8	97.7	96.1	96.3
		狭山市 88.8	91.2	95.2	98.5	95.7	96.5	
	②授業開始時刻	埼玉県 87.8	90.9	94.2	96.9	97.1	97.6	
		狭山市 86.8	92.5	95.4	98.0	97.0	97.2	
	2 ③靴そろえ	埼玉県 79.6	82.1	85.5	89.1	89.8	92.3	
		狭山市 81.4	81.8	86.6	91.7	91.4	93.1	
④整理整頓	埼玉県 76.2	76.7	79.9	77.1	77.0	80.8		
	狭山市 79.9	79.7	80.6	77.6	76.9	80.2		
○礼儀正しく人と接することができる	3 ⑤あいさつ	埼玉県 75.8	75.6	77.7	81.9	81.7	83.5	
		狭山市 73.8	68.9	74.5	79.7	79.0	78.1	
	⑥返事	埼玉県 85.5	85.6	86.1	88.0	86.6	88.3	
		狭山市 85.1	83.5	83.5	86.8	86.5	86.9	
	4 ⑦ていねいな言葉づかい	埼玉県 82.3	85.1	87.7	91.2	90.5	92.2	
		狭山市 81.0	84.1	88.4	91.3	91.5	94.4	
⑧やさしい言葉づかい	埼玉県 81.8	83.2	83.5	89.3	88.1	88.7		
	狭山市 83.3	83.0	84.7	91.4	88.5	90.2		
○約束やきまりを守ることができる	5 ⑨学習準備	埼玉県 82.3	84.6	87.2	91.9	91.2	92.5	
		狭山市 82.9	83.8	88.4	94.0	92.3	92.7	
	⑩話を聞き発表をする	埼玉県 75.1	74.5	74.9	77.2	73.4	76.7	
		狭山市 74.6	72.9	73.8	77.9	73.8	77.1	
	6 ⑪集団の場での態度	埼玉県 81.4	81.9	83.2	92.6	92.5	94.6	
		狭山市 83.3	79.0	83.8	93.1	93.2	95.5	
⑫掃除・美化活動	埼玉県 89.2	87.6	86.5	85.8	84.3	85.8		
	狭山市 91.0	86.7	85.8	90.8	88.3	87.4		

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

整理番号	L-5
------	-----

基本目標Ⅱ 豊かな心の育成と健康・体力の増進

施策2 生徒指導の充実

施策の成果目標

目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値※	目標値 (令和7年度)
いじめの解消率及び不登校児童生徒の学校復帰率	解消率81.8% 学校復帰率19.7%	解消率 74.6% 学校復帰率30.0%	解消率100% 学校復帰率33.3%

(令和4年度までの取り組み)

- すべての小中学校で、いじめを含む生活アンケート、Q-Uテスト、二者相談等の実施により、アンテナを高くし早期発見・早期対応がなされた。
- 各校で取り組んでいる道徳教育によって、道徳的心情や道徳的实践力が培われた。また、自己有用感を高めるような活動が取り入れられた。学校では、いじめが疑わしい段階から認知できるよう、組織的に対応し、迅速に解決に至る努力を行っている。しかし、平成29年3月以降いじめ解消の定義が変更されたため、いじめ解消率は若干低下しており、令和4年度は令和元年度(81.8%)より若干低下した。
- 不登校児童生徒及びその保護者との面談を、教育センター主任相談員を含む相談員6名により、継続的・定期的に実施した。さらに、各学校のスクールカウンセラー及びさやまっ子相談支援員と教育センターの学校課題解決支援員、相談員、適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー、こども支援課との連携を密にすることで、相談・指導・支援の充実を図り、学校への復帰を促した。

(目標値に対する達成状況)

- いじめの解消率は、目標値より低い水準にとどまった。
- 不登校児童生徒数の復帰率については、昨年度より少し改善された。

(今後の取り組み予定等)

- 学校生活充実支援委員会での研究の成果を各学校に広め、学校での居場所づくり、絆づくり、復帰支援の充実を図っていく。
- 今後も教育センター相談員、学校課題解決支援員、適応指導教室指導員、スクールソーシャルワーカー、こども支援課と学校との連携強化により、相談・指導の充実を図っていく。

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-6				
基本目標Ⅱ 豊かな心の育成と健康・体力の増進							
施策3 体力と健康の増進							
施策の成果目標							
目標項目	実績値 (令和元年度)		令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)			
不足しがちな栄養素 の充足率		小学校	中学校	各種栄養素の 充足率を 95%以上に する			
	カルシウム	101%	94%		カルシウム	99.3%	92%
	鉄	102%	99%		鉄	101%	106%
	ビタミンC	137%	100%		ビタミンC	127%	100%
	食物繊維	86%	86%		食物繊維	98%	97%
(令和4年度までの取り組み)							
<p>中学校の不足しているカルシウムについては、7月9月の2か月の牛乳を250mlで提供し、シチューなどの献立には、脱脂粉乳などを入れカルシウムが摂れるような献立にした。食物繊維については、大豆製品や切り干し大根などの乾物を多く献立に取り入れた。</p>							
(目標値に対する達成状況)							
<p>不足しがちな栄養素については、国の摂取量基準が高いため、すべての栄養素での目標達成には至らなかったが、献立等を工夫しおおむね達成できている。</p>							
(今後の取り組み予定等)							
<p>達成に至らなかった栄養素を中心に、新しい献立の試作等を実施し、目標値を達成できる献立作成に取り組む。</p>							

(所管課：入間川学校給食センター)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-7
基本目標Ⅱ 豊かな心の育成と健康・体力の増進			
施策3 体力と健康の増進			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
新体力テストの5段階総合評価のうち上位3ランク(A・B・C)の児童生徒の割合	(小学校) 81.8% (中学校) 83.9%	(小学校) 78.3% (中学校) 77.7%	県の目標を上回る 小学校 80.0% 中学校 85.0%
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>体力向上研究委員会が中心となり、新体力テストの結果分析と課題種目への取組、正しい測定方法の研究、授業研究や幼稚園から小学校低学年を対象としたリズム体操の開発及び幼稚園や小学校への普及、そして教員や保護者向けの広報活動等に取り組んだ。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>県の目標値は、小学校が80%以上、中学校が85%以上となっているため、小、中学校ともに、低い水準にとどまった。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>総合評価において、小中学校男子の数値を向上させる。</p> <p>狭山市及び西部教育事務所管内の課題種目の「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、県平均値を上回る学年を増やす。</p> <p>幼稚園・小学校低学年から、いろいろな運動に慣れ親しめるようにすることや、学びを実感できるような授業改善を行い、運動好きの児童生徒を増やし、体力向上につなげる。</p>			

(所管課：教育指導課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-8
基本目標Ⅲ 質が高く魅力ある教育環境の充実			
施策4 学校施設の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
学校施設の長寿命化改修の実 施校数	0校	0校	1校
<p>(令和4年度までの取り組み) 計画策定に係る所定の手続きを進め、令和3年8月に「狭山市学校施設長寿命化計画」を策定した。</p> <p>(目標値に対する達成状況) 令和4年度においては、中央中学校及び入間野中学校の校舎の中規模修繕（屋上防水改修並びに外壁改修ほか）に係る実施設計を行った。</p> <p>(今後の取り組み予定等) 当長寿命化計画に基づき、小・中学校の規模と配置の適正化に即しながら、学校施設の中長期的な維持管理コストの縮減や改修費用の平準化に努め、継続的な施設整備を行うことで学校施設に求められる教育機能を確保していく。</p>			

(所管課：教育施設管理課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-9
基本目標Ⅲ 質が高く魅力ある教育環境の充実			
施策4 学校施設の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
小中学校のトイレ環境整備の 達成割合	43.5%	100%	100%
<p>(令和4年度までの取り組み) 快適な教育環境を確保するため、平成29年度から小中学校のトイレの洋式化を計画的に進め、令和3年度から中学校のトイレの洋式化に着手した。</p> <p>(目標値に対する達成状況) 令和4年度では、中学校4校分のトイレの洋式化を実施した。</p> <p>(今後の取り組み予定等) 令和4年度のトイレ洋式化が完了したことにより、全小中学校23校のトイレの洋式化が完了した。</p>			

(所管課：教育施設管理課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-10
基本目標Ⅲ 質が高く魅力ある教育環境の充実			
施策4 学校施設の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
児童生徒の情報端末の整備率	小学校 8.9% 中学校 18.9%	小学校 100% 中学校 100%	小学校 100% 中学校 100%
<p>(令和4年度までの取り組み) GIGAスクール構想における国の補助事業を活用し、令和2年度末までに児童生徒の情報端末整備を100%完了した。</p> <p>(目標値に対する達成状況) 令和2年度末に達成</p> <p>(今後の取り組み予定等) 教職員の技能スキルを向上させるため、外部講師による授業支援ソフトの校内研修(各校年間2回)や、教育委員会主催の1人1台端末活用のための研修会等を実施する。 また、児童生徒が、授業や家庭に持ち帰って学習する際に、教科書で調べたり、先生や友達に聞いたりするのと同じように、学習ツールの選択肢の一つとして1人1台端末の活用を推進する。 カメラ機能を使った体育の授業における自身の動きの振り返りや、理科の実験を動画撮影し、必要に応じて見返す学びの調整、自身の進度に合わせたデジタルドリルの活用などを通して、個別最適化された学びを保証する。 さらに、クラウドを効果的に活用し、児童生徒の成果物を記録したり、児童生徒同士の1人1台端末を使った交流や協働学習等を通して、情報モラル等を含む学習に必要な情報活用能力を系統的、計画的に身に付けさせる。</p>			

(所管課：教育センター)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

			整理番号	L-11
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興				
施策2 生涯学習の機会や場の充実				
施策の成果目標				
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)	
生涯学習を月に一回以上行っている市民の割合	31.0%	アンケート未実施	40.0%	
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>子供から高齢者まで、また、障害の有無に関わらず、誰もが生涯学習に取り組めるよう、インターネットや紙媒体を活用した生涯学習関連情報の提供や生涯学習に関する相談への対応を行い、生涯学習の機会づくりを促進した。</p> <p>また、学習成果を発表する場の充実や、生涯学習団体の活性化に向けた支援を行った。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>令和4年度はアンケート調査を実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各種活動に制限があったことから、目標値の達成は難しいものと推測される。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>生涯学習に関する情報の提供方法や内容の一層の充実に努めるほか、公民館や富士見集会所などにおける地域ごとの特色を活かした事業を展開していくことにより生涯学習への参加を促進していく。</p>				

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-12												
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興															
施策2 生涯学習の機会や場の充実															
施策の成果目標															
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)												
生涯学習・社会教育に関する事業への参加者数	214,092人	115,430人	223,000人												
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>生涯学習まちづくり出前講座、子ども大学、現代的課題等講座などで生涯学習・社会教育に関する事業を実施した。</p> <p>また、集会所・公民館・博物館・図書館において生涯学習・社会教育に関する事業を実施した。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、事業の中止や参加人数の制限を行ったことにより、目標値の達成には至らなかった。</p> <table> <tr> <td>社会教育課</td> <td>23,963人</td> </tr> <tr> <td>富士見集会所</td> <td>1,124人</td> </tr> <tr> <td>公民館</td> <td>48,507人</td> </tr> <tr> <td>博物館</td> <td>38,061人</td> </tr> <tr> <td>図書館</td> <td>3,775人 (延べ人数)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>115,430人</td> </tr> </table> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も、各種講座の周知・PRを積極的に行なうとともに、各施設における講座の充実及び開催の確保に努め、市民と協働して事業を進めていく。</p> <p>またオンラインによる講座及びイベントの実施については、引き続き工夫しながら実施していく。</p>				社会教育課	23,963人	富士見集会所	1,124人	公民館	48,507人	博物館	38,061人	図書館	3,775人 (延べ人数)	合計	115,430人
社会教育課	23,963人														
富士見集会所	1,124人														
公民館	48,507人														
博物館	38,061人														
図書館	3,775人 (延べ人数)														
合計	115,430人														

(所管課：社会教育課・中央公民館)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-13
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策2 生涯学習の機会や場の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
人権教育に関する事業への参加者数	4,238人	3,675人	4,800人
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>同和問題をはじめとして、女性、子供、高齢者、障害のある人、外国人など、様々な人権問題に対する理解を深め、人権尊重意識の高揚を図るため、小中学校PTA人権教育学級、人権教育研修会、人権教育実践研究会、企業人権教育研修会、人権に関する講座等を実施した。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から規模を縮小し、工夫しながら事業を実施したが、社会教育課や公民館、集会所等における人権教育事業の実施件数及び参加者数は目標値の達成には至らなかった。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>関係機関と連携し、市民の人権尊重意識の高揚を図るとともに各種研修会への積極的な参加を促していく。</p> <p>また、オンラインによる研修会の実施や動画配信による情報提供について引き続き実施していく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-14									
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興												
施策2 生涯学習の機会や場の充実												
施策の成果目標												
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)									
平和関連事業への参加者数	482人	637人	530人									
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>市民の平和に対する意識の高揚を図るため、社会教育課、公民館、図書館で平和関連事業を実施し、平和に関する教育や啓発を推進した。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から参加人数を制限するなど、工夫しながら事業を実施した結果、公民館、図書館等と連携して8件の事業を実施し、637名の参加者があり目標を達成することができた。</p> <table border="0"> <tr> <td>社会教育課</td> <td>1件</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>公民館</td> <td>7件</td> <td>615人(延べ人数)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8件</td> <td>637人</td> </tr> </table> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も、公民館、図書館、博物館等と連携して、若年層にも興味を持ってもらえるような企画を実施するなど、平和関連事業の拡充を図り、平和意識を次世代に引き継ぎ、市民全体の平和に対する意識の高揚を図っていく。</p>				社会教育課	1件	22人	公民館	7件	615人(延べ人数)	合計	8件	637人
社会教育課	1件	22人										
公民館	7件	615人(延べ人数)										
合計	8件	637人										

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-15
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策2 生涯学習の機会や場の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
地域子ども教室への参加者数	8,066人	2,862人	8,250人
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>地域で子供を育む機会として、様々な体験や交流の場となる地域子ども教室の活動を支援するため、コーディネーターを2名配置し、活動の市内全域への拡大を進めて来た。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、参加する学年や人数の制限を設けるなど各教室とも工夫をしながら実施することができたが、目標値の達成には至らなかった。</p> <p>また、地域子ども教室を開設していない小学校区での教室の新設を目指し、学校、保護者及び地域住民等が協働・連携した結果、令和5年度より教室を開設する運びとなった。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>各教室の運営支援を図るとともに、学校、PTA、地域の青少年育成活動団体などと連携し、学校教育では提供できない様々な活動に取り組めるよう努める。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-16
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策2 生涯学習の機会や場の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
市民文化祭への参加団体数	646団体	416団体	650団体
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>芸術・文化団体等に対して、公民館などの活動の場の提供を通じて活動の拡大・促進を図るとともに、活動の成果を発表する場としての市民文化祭への参加を促進した。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>10公民館、入曽地域交流センター、富士見集会所、中央図書館、市民会館の14会場で市民文化祭を開催した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、催しの内容を一部制限しての実施となったため、目標の達成には至らなかったが、各会場が工夫をしながら、市民の文化活動の促進を図ることができた。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も、地域に根ざした文化の振興を図るうえで、市民の芸術・文化活動の促進及び生涯学習活動の成果を発表する場として、市民文化祭への参加を推進していくとともに、ポスター及びプログラム、ホームページ等、様々な媒体によるPRを行い、市民文化祭の周知に努めていく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-17
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策2 生涯学習の機会や場の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
文化財活用事業参加者の満足度	75.0%	86.7%	80.0%
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>文化財を活用した小学校等への出前講座や文化財展、講演会の開催や、博物館が作成した文化財紹介動画等により、文化財愛護意識の育成を図った。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>各事業後のアンケート調査の結果、社会教育課が実施した出前講座4件は、参加人数が少なかったが満足度は100%であった。博物館が実施した出前講座3件は、前年と比べて「普通」の割合が多かったことから63%にとどまったものの、博物館企画展4件は、91%の満足度となっており、全体の満足度は86.7%で、目標を達成した。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>文化財に対する愛護意識を育むため、小中学校への出張授業や児童生徒の文化財保護活動参加事業などを実施し、若年層への啓発に取り組んでいく。</p> <p>また、博物館では本市の歴史や文化の一端に触れるものや利用者の興味や関心を高めるものなど、独自性に富んだ事業を実施するとともに、郷土の歴史についてインターネット上で学べる動画を作成、配信するなど、市民ニーズに合致した学びの環境づくりに取り組んでいく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-18
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策3 生涯学習の成果の活用			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
生涯学習の成果を自分以外の ために活かしたいと思う市民 の割合	54.4%	アンケート未実施	60.0%
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>生涯学習の成果を発表することを目的とした市民文化祭の開催に加え、市民の有する様々な知識や技能を活かした生涯学習ボランティア制度について、制度の周知及び活用の促進を図った。</p> <p>また、地区センターやさやま市民大学などと連携して、生涯学習の学びの成果をまちづくりなどに活かす取り組みを促進した。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>令和4年度はアンケート調査を実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から各種活動に制限があったことから、目標値の達成は難しいものと推測される。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>引き続き、生涯学習活動団体や市民ボランティア等と連携・協働し、生涯学習で学んだ成果を地域社会に活かせる仕組みづくりを推進するとともに、生涯学習情報コーナーやさやまルシェなど、いつでも、どこでも、誰もが容易に生涯学習に関する情報を得ることができる体制づくりに努めていく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-19
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策3 生涯学習の成果の活用			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
学校支援ボランティアの派遣 人数	319人	165人	335人
<p>(令和4年度までの取り組み) 地域の教育力を活かして、小中学校へ学習支援などのボランティアを派遣する学校支援ボランティアセンターの取り組みを実施した。</p> <p>(目標値に対する達成状況) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、思うような学習支援ができず目標値の達成には至らなかったが、その中でも、感染症対策を行い、子どもと対面しての支援だけでなく、別室で宿題のチェックをする等の後方支援を行い、昨年度（延べ人数88人）より多くのボランティア（延べ人数165人）を派遣し、延べ5,349時間の支援を行うことができた。</p> <p>(今後の取り組み予定等) ボランティアの登録を促進するとともに、学校と連携して引き続き学校支援ボランティアセンターの活動の充実を図る。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-20
基本目標V 自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興			
施策3 生涯学習の成果の活用			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
地域学校協働活動への参加者 数	73,632人	52,851人	75,000人
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>全ての小・中学校に学校応援団コーディネーターを配置し、多くの保護者や地域住民等がボランティアとして学習支援、部活動指導、環境整備、登下校の安全指導、学校との合同行事等多岐にわたり活動し、学校支援を行った。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、例年どおりの活動ができず、当初の目標値の達成には至らなかったが、保護者や地域住民などにより、登下校の見守り、安全指導など、出来る範囲での活動に取り組むことができ、前年度(52,403人)より活動人数が増加した。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>保護者や地域住民などの多様な人材が活躍できる仕組みづくりを推進し、地域学校協働活動がより活発になるよう支援していく。</p>			

(所管課：社会教育課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-21
基本目標VI 元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興			
施策1 市民のスポーツ活動の促進			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
週1回以上スポーツを実施する市民の割合	32.4%	アンケート未実施	50.0%
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ教室・行事の充実を図り、市民が継続してスポーツに親しむことができるよう、スポーツの実施率向上に向けて取り組んできた。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>令和4年度はアンケート調査を実施しておらず、達成状況の把握は難しいが、スポーツ協会との共催事業である市民ゴルフ大会やクロスカントリー大会、スポーツ推進委員連絡協議会との共催事業であるトスペースボール大会やラケットテニス親睦大会等を2年ぶりに開催し、スポーツに親しむ機会を提供したことにより、スポーツに対する関心が増していると推測される。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も、各種スポーツ教室・行事の充実や継続的にスポーツを実施できる環境の整備を図るとともに、日常生活の中で手軽に行えるスポーツの紹介などSNS等を活用した情報を発信し、スポーツ実施率の一層の向上を図っていく。</p>			

(所管課：スポーツ振興課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-22
基本目標VI 元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興			
施策1 市民のスポーツ活動の促進			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
スポーツ教室・行事への参加者数	19,874人	10,712人	20,700人
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>各種スポーツ教室・行事については、各教室等の終了時のアンケートなどを通じて、市民のニーズを把握し、気軽にできるニュースポーツの普及や内容の充実を図ってきた。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>スポーツ教室は、15種目16教室を開催し、延べ665人の参加があり、行事については5事業を開催し、317人の参加を得た。共催事業では、市民ゴルフ大会196人、クロスカントリー大会388人、「こころとゆめ」をつなぐふれあいチャリティーリレー105人、トスペースボール大会183人、ラケットテニス親睦大会40人の参加があった。</p> <p>また、市民総合体育館及び地域スポーツ施設を管理運営する指定管理者による自主事業に延べ8,818人の参加があった。</p> <p>目標値には達していないが、今後も教室参加者のアンケートによりスポーツ種目や開催時期、時間を市民のニーズを把握し、達成に向け検討していく。ニュースポーツの普及については、公民館と連携したボッチャ講習会等を継続して実施していく。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>ライフスタイルや市民のニーズに応えられる教室内容の充実を図り、誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室の普及や行事の実施に取り組んでいく。</p>			

(所管課：スポーツ振興課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-23
基本目標VI 元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興			
施策2 競技スポーツの振興			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
アスリートとのスポーツイベントや講演会等の参加者数	397人	1,372人	800人
<p>(令和4年度までの取り組み)</p> <p>プロスポーツ団体との連携協定事業や、市内外との包括的連携協定による教室開催など、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及に取り組んできた。</p> <p>(目標値に対する達成状況)</p> <p>プロスポーツ団体との連携協定事業として、埼玉西武ライオンズによる「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」、「ライオンズサプライズゲスト」、「ベースボールチャレンジ」、ちふれAS エルフェン埼玉による「サッカー教室」を開催し、700人の参加があった。</p> <p>また、パラスポーツ体験として「あすチャレ！スクール」、「義足体験授業」を市内小中学校で実施し、672人の参加があった。</p> <p>(今後の取り組み予定等)</p> <p>今後も連携協定事業やスポーツイベント、講演会等を開催し、競技スポーツに接する機会を提供していく。</p>			

(所管課：スポーツ振興課)

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の
成果目標の点検評価表

		整理番号	L-24
基本目標VI 元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興			
施策3 スポーツ施設の充実			
施策の成果目標			
目標項目	実績値 (令和元年度)	令和4年度末数値	目標値 (令和7年度)
公共スポーツ施設の利用者数	879,733人	924,136人	880,000人
<p>(令和4年度までの取り組み) スポーツ協会をはじめとするスポーツ・レクリエーション団体の活動、さらには、各施設での自主事業の実施を通じて、スポーツ施設の利用の促進を図ってきた。</p> <p>(目標値に対する達成状況) 公共スポーツ施設利用者数（屋外運動施設、市民総合体育館、地域スポーツ施設、小・中学校開放体育館、入曽運動広場）は、924,136人で、昨年度に比べ103,349人増加した。</p> <p>【参考】 総体 205,966人 地スポ 42,266人 開放 91,708人 プール 1,065人 武道館 16,172人 入曽運動広場 41,821人 屋外施設（みどり公園課）有料 242,315人 無料 282,823人</p> <p>(今後の取り組み予定等) 各種スポーツ教室・行事及びスポーツ施設に関する情報提供の充実と、利用者が継続して利用したいと思う魅力ある施設への環境整備の促進を図っていく。</p>			

(所管課：スポーツ振興課)